

## 八幡志水線の代替交通の検討にかかる OD 調査・ 路線沿線アンケート調査結果の概要（速報版）

### 1. 八幡志水線 OD 調査について

#### ◆八幡志水線 OD 調査の概要

調査日時：令和6年9月19日（木） 6:17～21:20

調査方法：調査員が乗車し、目視またはヒアリングにより調査

※OD：Origin and Destination の略。どのバス停で乗車し、どのバス停で降車したか。

#### ◆戸津・西戸津・小松停留所利用者の利用実態

利用区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>西戸津または小松停留所の利用者は、基本的に石清水八幡宮駅との利用が多い。</li> </ul>
利用時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>石清水八幡宮駅行は6時台から8時台（第2便～5便）、西戸津行では、15時台から18時台（第10便～16便）の利用が比較的多い。</li> </ul>
1便あたりの利用者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大で1便あたり5人が乗降</li> <li>セダン型タクシー（旅客4人乗り）では積み残しが生じる可能性がある。</li> </ul>

### 2. 八幡志水線沿線アンケート調査について

#### ◆アンケート調査の概要

	戸津	八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松	合計
調査期間	令和6年10月30日(水)～11月9日(土)	令和6年11月1日(金)～11月15日(金)	-
調査方法	調査票への記入・Web		-
調査対象	149世帯	497世帯	646世帯
配布・ 回収方法	自治会を通じた配布・回収	ポスティングによる配布 郵送回収	-
回収数	96世帯 180票	132世帯 204票	228世帯 384票
回収率	64.4%（96世帯/149世帯）	26.6%（132世帯/497世帯）	35.3%

#### ◆アンケート調査結果のまとめ

- 八幡志水線の廃止により、外出頻度の減少や自力で外出ができなくなる人は、両地域合計で約2割みられ、75歳以上の高齢者に多い。
- 「代替交通を導入すべき」との意見は両地域合計で約8割と高い
- 今後の八幡市の地域公共交通のあり方についても「行政が支えていくべき」との意見が約7割を占める。
- ただし、「住民一人一人の積極利用により支える」との意見は若年層ほど多くみられた。また、「地域が主体となって支える」との意見は約1割みられた。
- 地域公共交通を維持するために「積極的に地域公共交通を利用する」と回答した割合は5割以上を占めた。
- 行政だけで全ての市民の移動を支えることに限界がある中で、将来的な地域公共交通の持続可能性の向上に向けて、利用意向のある層を中心とした利用促進や、地域で支え合って交通を維持する機運の醸成も合わせて必要になると考えられる。

## 参考 OD調査結果（抜粋）

## (1) 停留所別乗降者数

停留所別の1日の乗降客数をみると、戸津停留所の乗者数は0人、西戸津停留所の乗降者数は11人（乗車：7人、降車：4人）、小松停留所の乗降者数は48人（乗車：24人、降車：24人）であった。

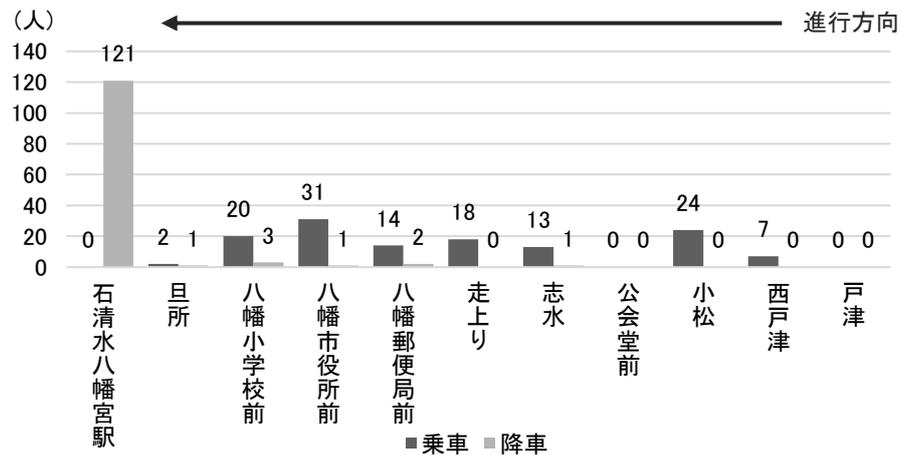


図 停留所別乗降者数（石清水八幡宮駅行）

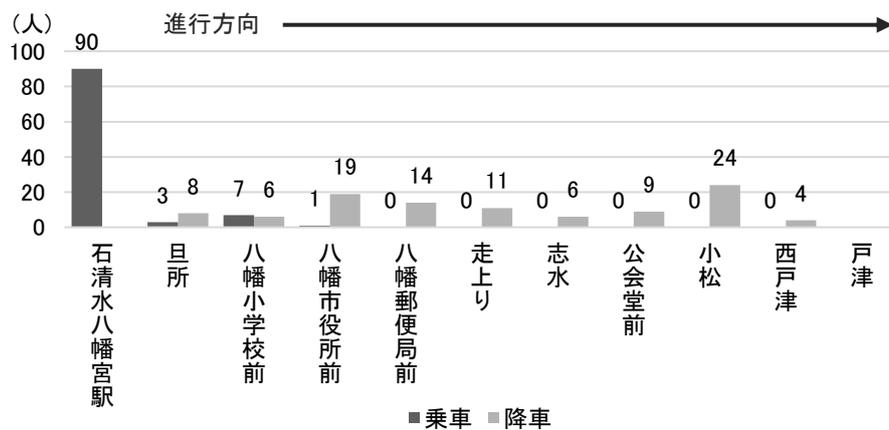


図 停留所別乗降者数（西戸津行）

## (2) OD

戸津・西戸津・小松停留所利用者の OD をみると、西戸津または小松から石清水八幡宮駅、石清水八幡宮駅から西戸津または小松間の利用が最も多い。

表 OD 表

乗車/降車 (人)	乗車計	降車計	乗降計	石清水八幡宮駅	旦所	八幡小学校前	八幡市役所前	八幡郵便局前	走上り	志水	公会堂前	小松	西戸津	戸津
				降車計	230	230	460	121	9	9	20	16	11	7
石清水八幡宮駅	90	121	211		8	6	19	14	9	6	6	18	4	
旦所	5	9	14	2					1			2		
八幡小学校前	27	9	36	19				1	1		3	3		
八幡市役所前	32	20	52	31								1		
八幡郵便局前	14	16	30	12		2								
走上り	18	11	29	17	1									
志水	13	7	20	12		1								
公会堂前	0	9	9											
小松	24	24	48	22			1	1						
西戸津	7	4	11	6						1				
戸津	0	0	0											

※赤枠内：戸津・西戸津・小松停留所利用者の OD

## (3) 便別利用者数

西戸津・戸津・小松停留所利用者の便別の利用者数をみると、石清水八幡宮駅行では6時台から8時台（第2便～5便）の利用が比較的多く、西戸津行では、15時台から18時台（第10便～16便）の利用が比較的多い。

1便あたりの利用者数は最大で5人であり、代替交通の導入にあたってはセダン型タクシー（旅客4人乗り）では積み残しが生じる可能性がある。

表 便別利用者数（西戸津・戸津・小松停留所利用者）

(人)	石清水八幡宮駅行	(人)	西戸津行
合計	30	合計	28
1便(06:17発)	1	1便(08:30発)	0
2便(06:44発)	5	2便(09:12発)	0
3便(07:11発)	4	3便(09:52発)	0
4便(07:41発)	5	4便(10:32発)	1
5便(08:06発)	4	5便(11:12発)	2
6便(08:47発)	1	6便(12:02発)	0
7便(09:31発)	0	7便(12:42発)	0
8便(10:11発)	1	8便(13:32発)	0
9便(10:51発)	1	9便(14:12発)	2
10便(11:41発)	0	10便(15:02発)	4
11便(12:21発)	2	11便(15:42発)	3
12便(13:11発)	2	12便(16:32発)	3
13便(13:51発)	0	13便(17:22発)	1
14便(14:41発)	1	14便(17:54発)	3
15便(15:21発)	2	15便(18:24発)	2
16便(16:11発)	0	16便(18:55発)	4
17便(16:53発)	1	17便(19:35発)	1
18便(19:14発)	0	18便(20:20発)	1
19便(19:58発)	0	19便(21:20発)	1
20便(20:43発)	0		

## 参考 アンケート調査結果（抜粋）

## (1) 八幡志水線の最近1年の利用頻度

八幡志水線の最近1年の利用頻度について週1日以上利用している割合をみると、戸津で約1割、八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松で約3割である。

一方、1年で全く利用したことがない人の割合は戸津で約4割、八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松で約3割である。

八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松は戸津と比較して利用頻度が高いと言える。

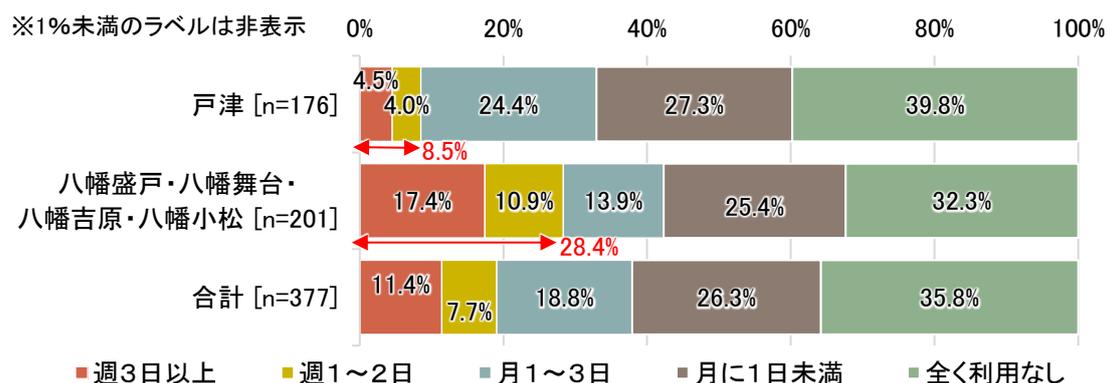


図 八幡志水線の最近1年の利用頻度

## (2) 八幡志水線廃止の生活への影響

八幡志水線の廃止に伴い「地域公共交通以外の移動手段で移動するしかない（外出頻度は減少する）」「自力で外出できなくなる」と回答した割合は、両地域合計で約2割である。

また、八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松では「他のバス停まで歩いて移動する」が約4割を占める。

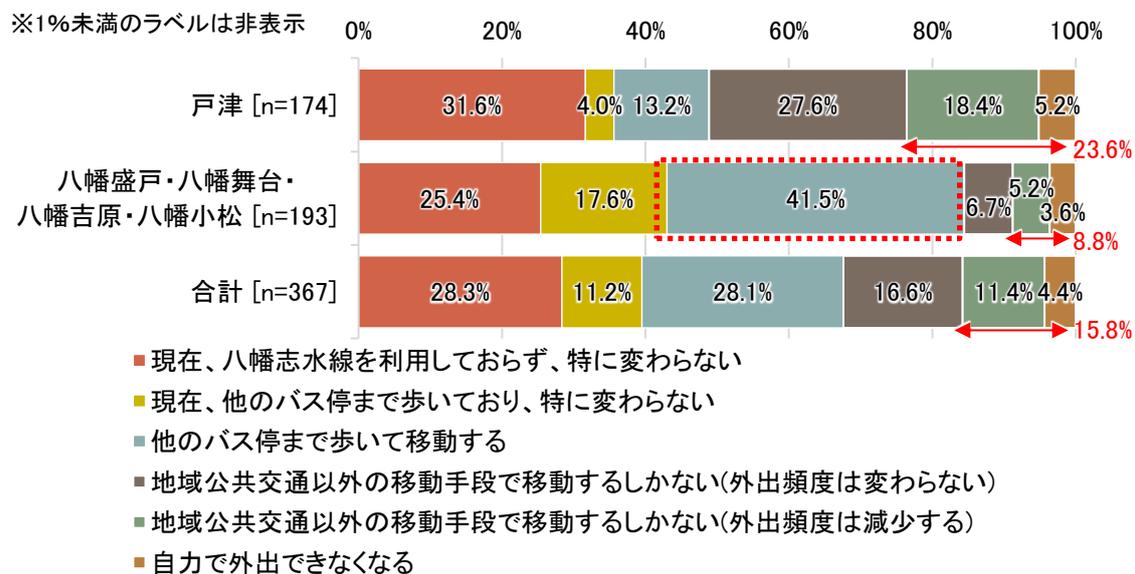


図 八幡志水線廃止の生活への影響

年齢階層別にみると、「地域公共交通以外の移動手段で移動するしかない（外出頻度は減少する）」「自力で外出できなくなる」と回答した人は75歳以上の高齢者に多い。

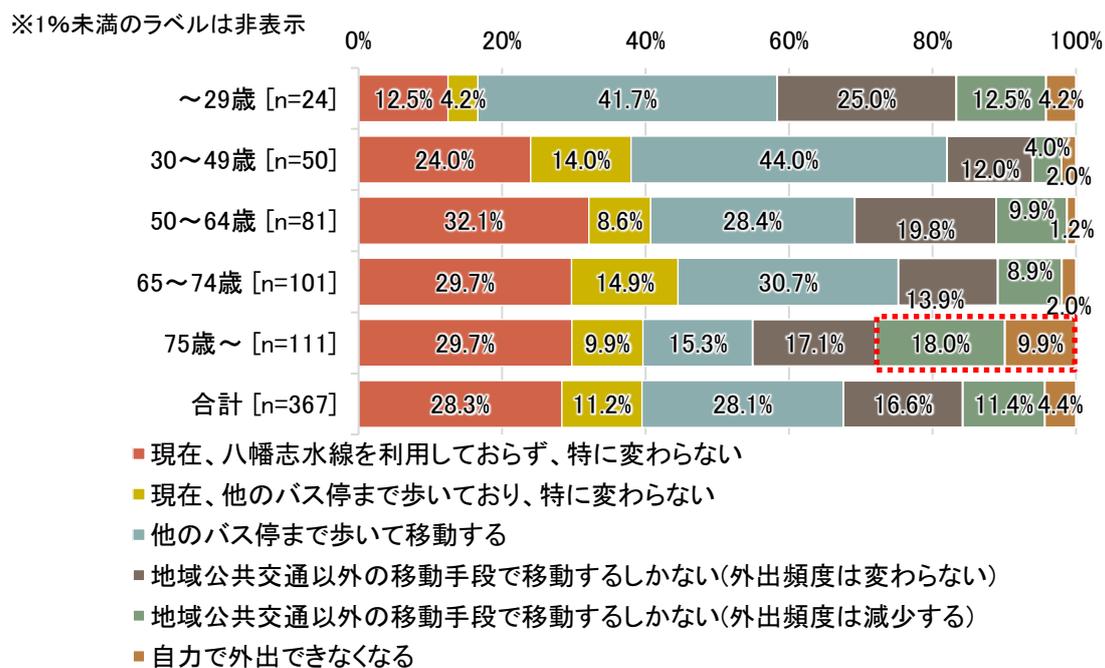
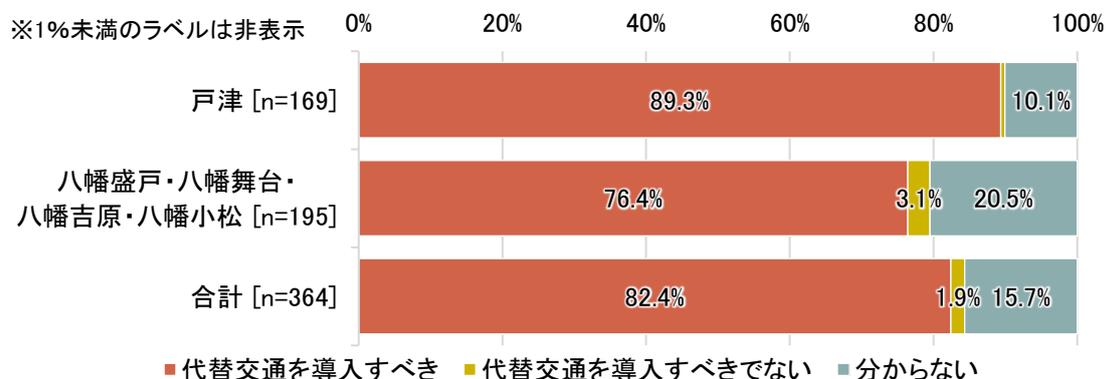


図 年齢階層別 八幡志水線廃止の生活への影響度

## (3) 代替交通の導入要否

「代替交通を導入すべき」との意見は、戸津で約9割、八幡盛戸・八幡舞台・八幡吉原・八幡小松で約8割を占めており、沿線住民の代替交通へのニーズは大きい。



## (4) 今後の八幡市の地域公共交通のあり方についての考え

今後の八幡市の地域公共交通のあり方については、両地域ともに「行政がコミュニティバス等を運行し、地域公共交通を支えていくべき」との意見が多数を占めた。

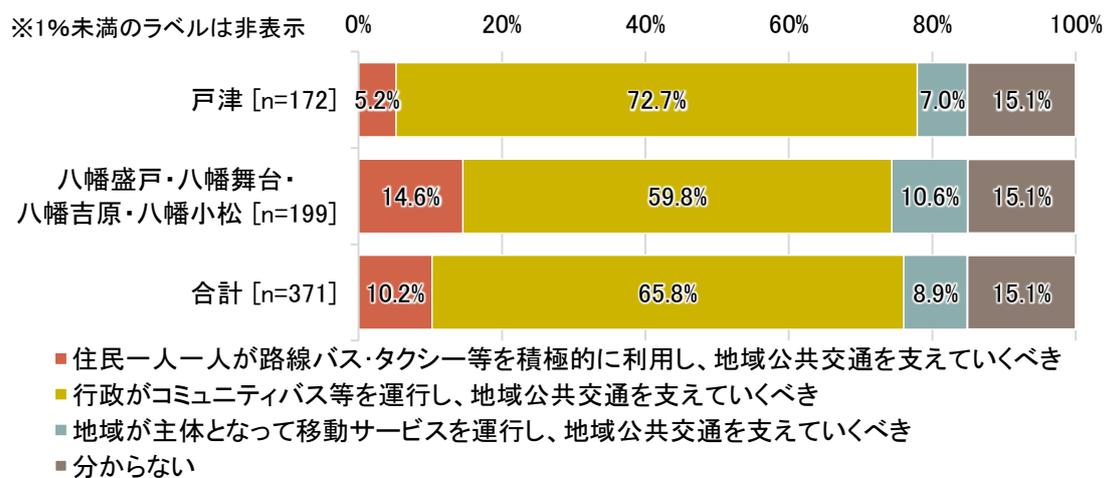


図 今後の八幡市の地域公共交通のあり方についての考え

年齢階層別にみると、若年層ほど「住民一人一人が路線バス・タクシー等を積極的に利用し、地域公共交通を支えていくべき」の割合が高くなっている。

また、全ての年齢階層に渡って「地域が主体となって移動サービスを運行し、地域公共交通を支えていくべき」との回答があり、全体で約1割を占めている。

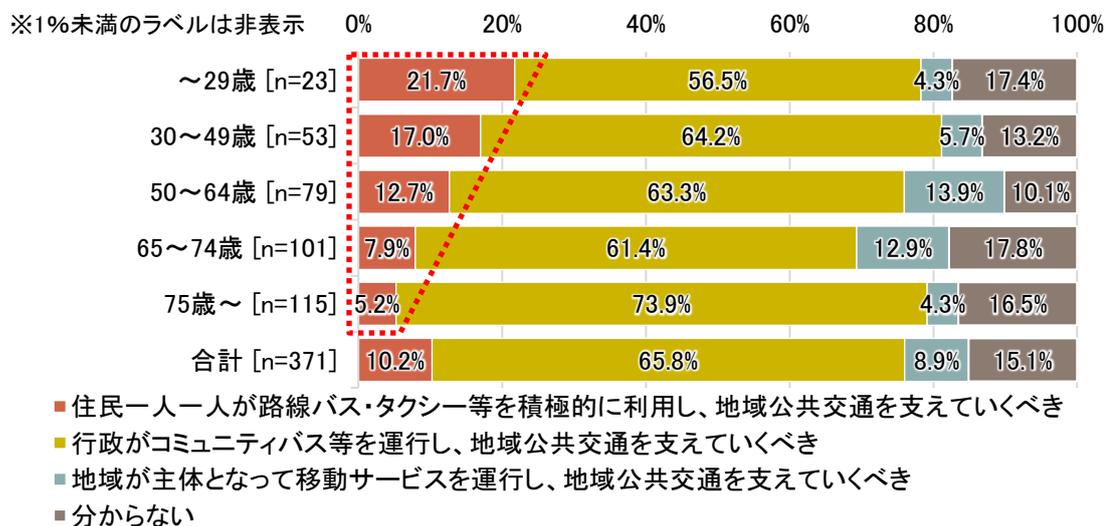


図 年齢階層別 今後の八幡市の地域公共交通のあり方

## (4) 地域公共交通維持のための協力意向

地域公共交通維持のための協力意向は、両地域とも傾向は変わらず、「積極的に地域公共交通を利用する」「地域公共交通に関心を持つ（利用状況や収支状況など）」の割合が高い。

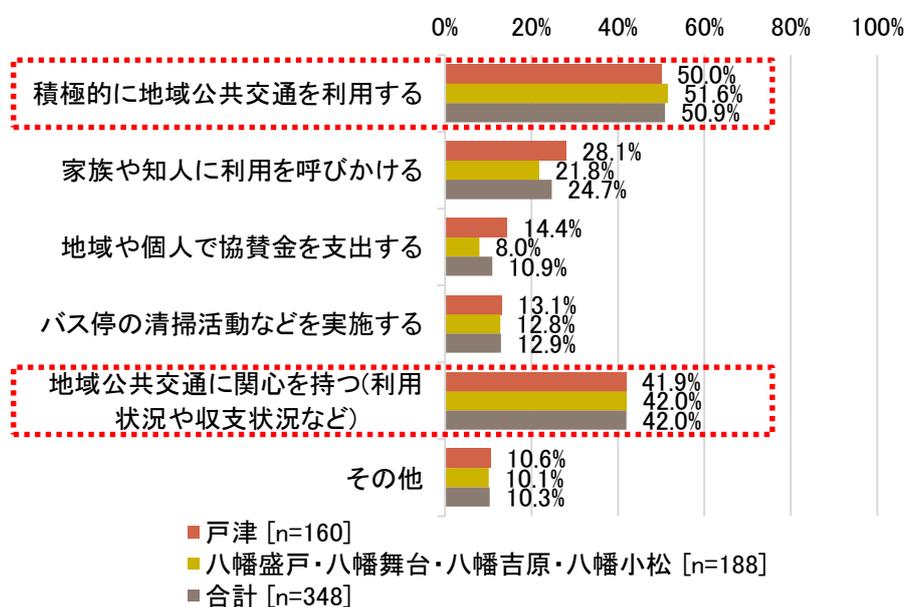


図 地域公共交通維持のための協力意向